

がん哲学ゼミナール

講師 順天堂大学教授 樋野 興夫

人間の根源的な生き方を考えようとするがん患者に対し、がんに関する哲学的な意味を見出すことによって共感、サポートするユニークな試みが始まっています。がん患者や家族だけでなく、私たちみんなが人とのつながりを感じ、尊厳を持って生きることの意味を探ります。

講師の樋野興夫氏は、南原繁（戦後初代の東大総長）（1889-1974）の「政治哲学」と吉田富三（元癌研所長・東大教授・佐々木研究所長）（1903-1973）の「がん学」を融合させた「がん哲学」を提唱しています。また、『武士道』などの著書で知られる新渡戸稲造の思想「人生はすべて小さく始まって着実に広がっていく。人生は開いた扇のよう。出発点では小さくて、絶えず大きくなっていくのである」にがん細胞の成長過程を重ねて見えています。「人間学の法則＋生物学の法則」＝「がん哲学」を、患者や医療現場の声に耳を傾け、参考となるテキストにも寄り添いながら、ともに考えていきます。（協力：NPO 法人「がん哲学外来」）

＜参考図書＞ 樋野 興夫著「がん哲学－立花隆氏との対話」（改訂版）

To Be 出版刊 1,000 円 （朝日カルチャーセンター4 階にて販売）

＜講師紹介＞ 樋野 興夫（ひの・おきお）

1954 年島根県生まれ。癌研病理部、米国アインシュタイン医科大学肝臓研究センター、米国フォックスチェースがんセンター、癌研実験病理部長を経て、順天堂大学医学部病理・腫瘍学教授に就任。2008 年 1～3 月に、順天堂医院で試行的に開設した『がん哲学外来』が大きな評判を呼ぶ。肝臓、腎臓の研究での功績が認められ日本癌学会奨励賞、高松宮妃癌研究基金学術賞、第一回「新渡戸・南原賞」などを受賞している。

日 時 2010年1月20日 2月17日 3月17日（水）全3回 19:00～21:00

場 所 新宿住友ビル内

受講料（税込み） ACC 会員 9,450 円 一般（入会不要）11,340 円

◆お申し込み・お問い合わせ いつからでもご参加いただけます。

【コンビニ払込申し込み】 TEL 03-3344-1947 またはWebサイトから。

※ 受講者が一定人数に達しない場合などに、講座を延期または中止することがあります。

※ お申し込みの際にご記入いただく皆様の個人情報は、受講連絡をはじめ当社からの各種お知らせ、講座企画の内部資料として使わせていただきます。



朝日カルチャーセンター | 新宿
朝日JTB・交流文化塾

〒163-0204 東京都新宿区西新宿2-6-1
新宿住友ビル内 秘書箱22号
tel 03-3344-1947（生活芸術科直通）
<http://www.asahiculture-shinjuku.com/>